

身近な文化財

第二十一話

数珠繰り

「数珠繰り」は、数人がかりで長い数珠を回しながら念仏を唱える行事です。多くの場合、地域の女性を中心とした行事で、子安講（安産祈願の集まり）などとおわせて行われます。今も田島、入方、表郷の番沢・下羽原、大信の町屋・上新城・中新城・下新城・日和田・増見など、多くの地域で行われています。

数珠は念珠ともいい、僧侶が念仏を行う際に玉を一つずつ繰って回数を数えるために用いられました。のちに多くの信徒による数珠繰りが行われるようになり、さまざまなご利益を願う行事として各地に広まったようです。市内では2月10日前後に行うことが多く、12月8日や2月8日などのいわゆる事八日（事始め・事納めの日）にあわせて行われる場合もあります。事八日には災いがやってくるとされ、それを防ぐためと考えられます。

また、数珠を回す回数が決められている場合もあり、21回、100回、3周など地域によってさまざまです。

表郷下羽原では、集落に災いが入ってこないよう、四つ角ごとに立ち止まって数珠を回します（写真①）。参加者で反時計回りに回しながら「カザヨケ（風「邪」除け）ネンブツナムアミダ」「ゴキトウ（御祈祷）ネンブツナムアミダ」などと唱えます。

大信中新城では、集会所などに集まり、時計回りで数珠を回します（写真②）。録音した念仏を流している間、休みなく数珠を回します。

このように、数珠繰りは地域の繁栄や安全を祈って続けられてきた歴史ある行事であり、大切な文化財のひとつです。

問 文化財課 ☎ 23310



① ▲数珠を回す時には、自分の身体の悪いところをさすとご利益があると言われてます。



② ▲数珠の房の部分が増えてきた時には、頭を下げて房に触れます。

お知らせ

ラウンジ

りげらん

シリーズ

子育て

保健

くらしの情報館

火災予防

高齢者サロン

休日当番医・無料相談ほか

★ 新生 白河実業 Vol.10

☎白河実業高校 ☎ 1176

★ 各科紹介 ⑥ 農業科

農業科では、地域との関わりを大切にした教育を実践しています。



☆坂本屋総本店とコラボし、本校で生産した農畜産物を使ったプリンの商品開発に取り組んでいます。

◀白河ひよっこプリンと試食会の様子

☆“花いっぱい運動”に取り組んでいます。



白河警察署へのプランター花の寄贈▶

地域で輝く卒業生

菊地 聡 さん
(令和2年度農業科卒)

▶勤務先
菊地果樹園（就農）



私は高校在学中、個性あふれる仲間、そして素晴らしい恩師に恵まれ、充実した3年間を過ごすことができました。

農業科では、栽培や飼育の基礎知識を学んだことや農業クラブ活動に取り組んだことを思い出します。

高校卒業後は、矢吹町の福島県農業総合センター農業短期大学校果樹経営学科へ進学し、果樹に関して高度な知識や技術を学ぶことができました。

現在は実家に就農し、ブドウや桃を中心に果樹栽培に挑戦しています。まだまだ未熟な私ですが、少しずつ技術を磨き上げ、お客様に喜んでいただけるような、こだわりのある果物を生産していきたいと思っています。

近くにお越しの際には、ぜひお立ち寄りください。